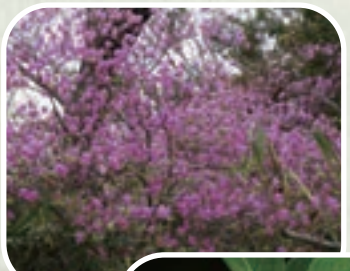


# 豊中の里山を守る

## 島熊山

**コバノミツバツツジ**  
早春の山を彩る濃いピンク色の花。小さな三つ葉の葉がその名の由来。

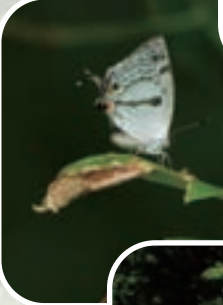


**エゴノキ**  
5月、白い花がぶら下がるように揺れています。

**チョウトンボ**  
草原をチョウのようにふわふわ舞い飛びます。光の加減で翅の色が変わります。

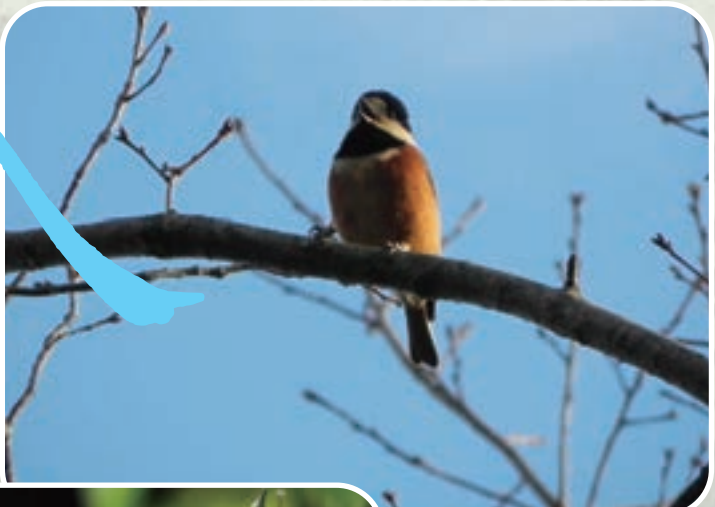


**ミズイロオナガシジミ**  
雑木林の妖精のようなチョウです。



**チガヤ** 6月、チガヤの穂が銀色の波のように埋め尽くす草原。

**ヤマガラ** 人懐っこいヤマガラは、エゴノキの実が好物。



**アオジ** 用心深く、藪の中にいることが多い。



写真提供…土田泰子さん(島熊山の雑木林を守る会)

# 秋

**オオセイボウ**  
9月、宝石のように光り輝くハチ。



**コウヤボウキ** 10月、島熊山の秋を代表する花です。



# 千里の美しい竹林

## 千里東町公園

豊中市と吹田市にまたがる千里丘陵の竹林は、「21世紀に残したい日本の自然100選」(朝日新聞社・財団法人 森林文化協会)に大阪府内で2か所選ばれたうちの1つです。

江戸時代末期、稲作に向かない土壌のため、農家が副業としてモウソウチクを植えたのが始まりといわれ、のちにタケノコの産地として有名になりました。年月を経て、手入れをされなくなった竹林は、枯れた竹や倒れた竹が放置され、



千里東町公園内の美しく整備された竹林。1年を通じた定期的な活動の賜物です。



竹垣用に竹を切って保存しておくのは冬場の作業です。



見事に組まれた竹垣は意匠も様々。4、5年で作り直す竹垣組みは夏に行います。

ゴミが散乱する状態に。「このままでは竹林がダメになる」と地域の人を中心に「千里竹の会」を発足したのが平成15年。以来、竹の間伐や竹垣づくりといった竹林整備だけでなく、竹炭、竹酢液、竹細工など竹にまつわる生活文化の伝承活動も行っています。その地域貢献活動が認められて、平成27年度には第35回緑の都市賞(公益財団法人都市緑化機構)の緑の市民協働部門において国土交通大臣賞を受賞しています。